

主催：東洋大学 工業技術研究所 共催：(一社) さいしんコラボ産学官 後援：埼玉縣信用金庫

工業技術研究所 講演会

「待ったなし！インフラ老朽化の危機 ～展望と対策～」

【日時】2018年8月2日(木) 13:30～

【会場】東洋大学川越キャンパス4号館4階 第1会議室

※どなたでもご参加いただけます(参加無料)

【お問合せ】

東洋大学 工業技術研究所

TEL：049-239-1322

FAX：049-232-0981

E-MAIL：kougiken@toyo.jp

講演1 (13:40-14:40)

「次世代に『美田』を残すために我々がなすべきこと」

東洋大学 理工学部 都市環境デザイン学科

教授 福手 勤 ふくてつとむ

我が国では高齢化の進行に伴って社会保障費が急増するにもかかわらず、それを支える若者の人口は減少の一途です。一方、これまで日本の経済発展、我々の生活を支えてきたインフラの老朽化が進み、その対策にも多くの予算が必要になっています。このような中で、私たちは次世代にどのようにして良質なインフラを引き継いでいったらよいのでしょうか？ハード、ソフトの両面から考えます。

【講師略歴】

1949年11月 愛知県生まれ

1974年4月 運輸省入省後、港湾技術研究所、港湾建設局、関西国際空港(株)などにおいて、おもに港湾、空港の調査・設計・建設・維持管理に関する研究、技術開発、行政業務に従事した。

国土交通省国土技術政策総合研究所を経て、

2003年4月 東洋大学工学部環境建設学科に着任し、現在に至る。



講演2 (14:50-15:50)

「信頼性か保全性か -無電柱化論を考える-」

東洋大学 ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科

教授 内田 祥士 うちだ よしお

一般に、都市インフラの維持には、大きく分けて二つの考え方があります。信頼性重視型と保全性重視型の二つです。何方にするかは、本来、選択の問題で優劣の問題ではありません。では、どのような契機で、この選択は成され、どのような契機で変更されるのでしょうか。この点について、近年話題の「無電柱化論」を糧に両者の可能性と問題点について考えてみたいと思います。

【講師略歴】

1955年東京生まれ。建築家。東洋大学ライフデザイン学部教授。

大学を卒業後、建築設計事務所設計活動を、大学院で近代建築史の研究を、各々5年づつ経験し、その後は、研究と設計を並行して行う。

作品：「ライフデザイン学部実験工房棟(改修)」(久米設計+内田祥士)等

著書：「東照宮の近代」(ペリかん社 2009年)、「営繕論」(NTT出版 2017年)等



技術懇話会 (16:00-17:00) 会場：第2会議室



裏面が
申込用紙に
なっています

【お申し込み期限:2018年7月20日(金)】

FAX:048-599-1044

一社)さいしんコラボ産学官あて

工業技術研究所 講演会 参加申込書

企業/機関名	(フリガナ)		
住所	〒 - -		
電話	- -	FAX	- -
E-MAIL			

参加希望者		
部署/役職名	氏名	講演会・懇話会 出欠 (○で囲む)
	(フリガナ)	・講演会 ・懇話会
	(フリガナ)	・講演会 ・懇話会
	(フリガナ)	・講演会 ・懇話会

※ご案内の送付先に誤り・変更がございましたらご記入ください

会場までのアクセス

東洋大学 川越キャンパス

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

東武東上線 鶴ヶ島駅下車 東口から 徒歩約10分(新西門まで)

東武東上線 池袋駅→鶴ヶ島駅 急行約38分/準急約45分

東武東上線 川越→鶴ヶ島駅 約8分

★お願い★

会場の駐車場には限りがあります。

公共交通機関のご利用にご協力をお願いいたします。

